

## 静岡県景観懇話会の開催結果

### 1 静岡県景観懇話会の概要

本県の景観施策について有識者から意見・提言をいただく静岡県景観懇話会を平成30年1月29日に設置し、令和元年8月20日に本年度の会議を開催した。

本懇話会は、武内和彦特任教授（東京大学未来ビジョン研究センター）を会長とし、景観工学、都市計画、建築、教育、観光・国際等を専門分野とする有識者10名で構成される。

### 2 意見・提言の要旨

#### （議題1）大規模太陽光発電設備の適正導入に向けた取組について

- ・太陽光発電設備の設置に係る様々な法令や規制について、関係部局間による適正な連携を図ること。
- ・メガソーラーだけでなく景観への配慮が必要な小規模ソーラーについての対応も考慮すること。
- ・規制だけでなく、太陽光発電設備やその他の再生可能エネルギーの推進と地域との共生について、さらに検討すること。

#### （議題2）ふじのくに景観形成計画進捗状況評価について

- ・これまで以上に詳細な評価を外部専門家に丁寧に見てもらうこと。また、進捗だけではなく、景観の質及び取り組む上での課題・対応についても評価すること。
- ・様々な取組をさらに県民と共有し意識醸成を図ること。その際には、小中高等学校との連携も考慮すること。
- ・無電柱化は、都市部だけではなく、地域で重要と考えられる農村景観を保全するため、農村部での実施も検討すること。
- ・野立て広告は、除却だけではなく、設置が必要と認められるものについては集約化を検討すること。

### 3 今後の対応

#### （議題1）大規模太陽光発電設備の適正導入に向けた取組について

- ・小規模な太陽光発電設備も対象とし、設置に係る様々な規制について体系的に整理された「太陽光発電設備の適正導入に向けたモデルガイドライン（平成30年12月）」に基づいた市町のガイドライン策定について、引き続き、関係部局による支援を行うとともに、連絡会議等での連携を図っていく。
- ・再生可能エネルギーの推進と地域との共生については、幅広い視点から総合的に検討する必要があることから、県全体の課題として受け止め、関係部局が連携して取り組んでいく。

#### （議題2）ふじのくに景観形成計画進捗状況評価について

- ・外部評価については、より詳細で丁寧な評価の方法や評価内容の充実等について検討する。
- ・県が行っている取組の県民との共有については、県や市町の広報誌等を活用する等、さらなる意識醸成を図る。
- ・農村部での無電柱化については、景観行政団体である市町に対して、地域で重要と考えられる農村景観を景観計画に位置付けるよう働きかけていく。
- ・野立て広告の集約化については、全国の先行する事例等の調査・研究に取り組む。

(参考) 静岡県景観懇話会 委員一覧

氏名	所属・職名	専門分野
(会長) 武内 和彦	東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授	緑地環境学
秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究科 准教授	都市計画
天野 光一	日本大学理工学部 教授	景観工学
伊藤 光造	特定非営利活動法人くらしまち継承機構 理事長	地域コミュニティ
金田 享子	公益社団法人日本サインデザイン協会 常任理事	サインデザイン
川口 宗敏	静岡文化芸術大学 名誉教授	都市デザイン
齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授	景観論
西森 陸雄	工学院大学建築学部 教授	建築デザイン
渡邊 靖乃	静岡県教育委員	教育
Tony Everitt	Tourism Shizuoka Japan 戦略アドバイザー	観光・広報

敬称略 会長を除き五十音順